

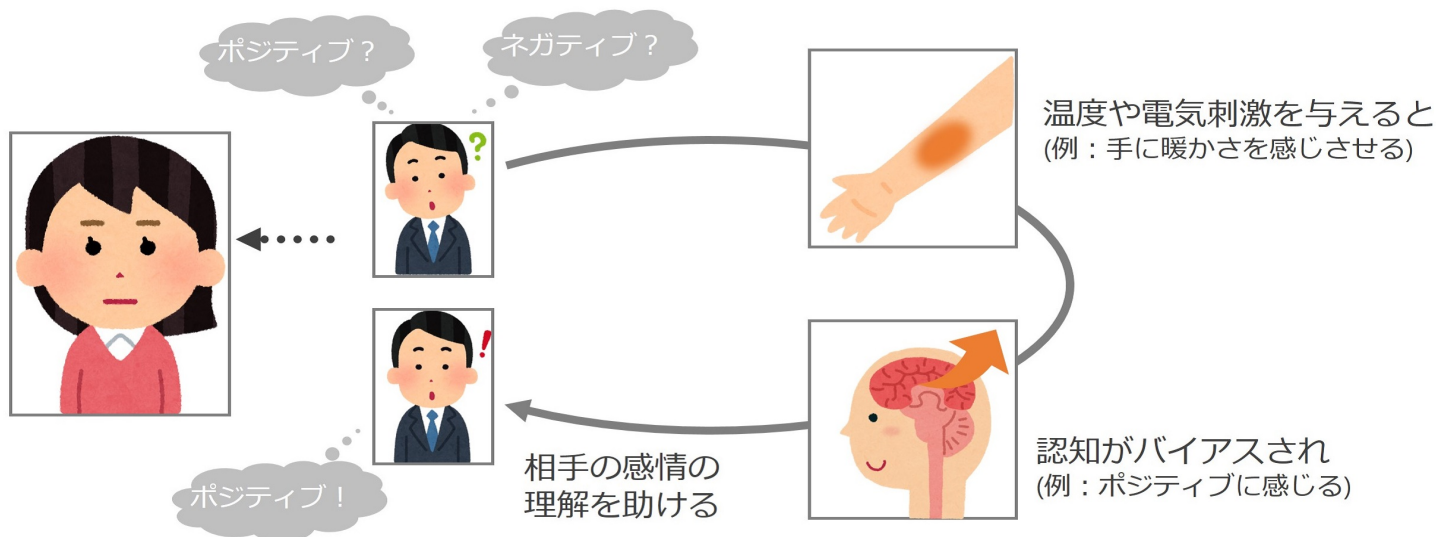


背景

認知的特性によって社会で生きづらさを感じている人たちがいます。例えば、相手の表情から感情が読み取るのが苦手であり、コミュニケーションに難を感じることがあります。そのような人たちを支援することでコミュニケーション齟齬の軽減をめざしています。

成果の概要

例えば、温かい飲み物をもって人の顔写真を見ると、その人は温かい（寛大で思いやりがある）人と感じやすくなると言われています。そんな体の仕組みを使うことで、人がコミュニケーションするときに相手の感情を読み取りやすくする技術に挑戦しています。



技術のポイント

- 刺激の制御により任意の認知バイアスを誘発

この研究がもたらす未来

就労時において、コミュニケーション齟齬によるストレスで精神障がいを生じ離職してしまうことが防げ、働きやすくなる社会をもたらします。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com